

学識経験者の意見

「教育委員会の事務の管理及び執行の状況と点検及び評価」を行うにあたっては、教育に関し、学識経験者に知見の活用を図ることが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に定められていることから、志摩市代表監査委員の中島郁弘氏より令和2年11月19日（木）に「令和元年度の教育委員会主要事業」について意見を頂戴した。その主なものについて、以下に記載する。

第1章 子ども一人ひとりを大切にせる教育

（1）人権教育の推進

市内中学校区を単位として、代表校へ児童生徒のための人権教育に繋がる実践及び研修活動を、また人権教育推進ガイドラインに基づき、人権教育を推進するために市内小中学校・幼稚園・保育所の研修会で周知していることを確認できたが、今後も取り組みが継続するよう進められたい。

（2）男女共同参画教育の推進

性の多様性への理解など性的マイノリティの人々に対する教育については、子どもたちへの一方的な教育ではなく、子どもたちの中で自発的に広がっていく教育を進められたい。

（3）特別支援教育の推進

学校、関係機関との情報共有を密にし、支援が必要な幼児・児童・生徒の教育的ニーズの把握に努め、個々に応じた支援が行われていることを確認できたが、児童生徒へのアセスメント力や適切な支援方法について、教職員一人ひとりの資質向上に努められたい。

（4）問題行動への対応の推進

いじめをはじめとする問題行動の未然防止、早期発見、早期対応のため、アンケートや、児童生徒一人ひとりに応じた指導・支援を行っていることは確認できた。

また、問題行動の早期発見・再発防止を図るため、学校間の連携を図り、関係機関と連携した体制づくりに取り組んでいることが確認できた。

しかし、深刻な事案も発生していることから、家庭、地域とも連携し、問題行動の未然防止、再発防止、相談体制のさらなる強化に努められたい。

（5）不登校等児童生徒に対する支援の推進

適応指導教室の指導員により保育所・幼稚園・小中学校を訪問し、不登校等児童生徒の早期発見に向けた取り組みを行っていることが確認できたが、不登校等の諸問題に対し、学校内での対策チームの組織化や学校間での情報共有化等を行い、不登校等解消に努められたい。

第2章 ふるさとを誇ることができる教育

(1) 志摩の自然に学ぶ教育の推進

地域の産業を学び、志摩の自然を肌で感じることで、志摩市の良さを再認識する学習を行っているが、SDGs達成に向けた取り組みを強化されたい。

(2) 子どもを育む家庭教育の支援の推進

学校教育課、こども家庭課、健康推進課と定期的な情報共有や連携して保護者との教育相談を行っていることが確認できた。今後も教育相談をさらに充実させるよう取組まれたい。

(3) 生涯学習の推進

講座受講者が減少傾向にあるため、あらゆる世代が参加できる公民館講座の開設に取組まれたい。また、阿児アリーナの利用者数、使用者数を増やすよう、広報活動等のPR、企画に力を入れ、利用者、使用者の増加に努められたい。

(4) 図書館運営の推進

図書館大規模改修工事により、おはなし会等の事業が1年間実施できなかったことに伴い、図書館の利用が減らないよう広報等でPR活動を行い、魅力ある図書館づくりに努められたい。

(5) 生涯スポーツの推進

スポーツ推進計画に基づき、スポーツに親しむ安心・安全な場の提供、スポーツ団体への補助等を行い、スポーツの推進が図られていることが確認できた。利用状況に応じた施設の統廃合、指定管理者制度の導入等を検討する必要があるため、スポーツ推進の方向性示す、中・長期的な施設運営計画等の策定に努められたい。

(6) 青少年健全育成の推進

スマートフォン等のネット利用者の増加に伴い、ネット犯罪の被害が増加傾向のため、犯罪に巻き込まれることがないように、青少年の判断能力の育成に努められたい。

今後も地域の子どもが心豊かに成長することができる環境を整えるため、地域ぐるみで行う青少年健全育成活動を支援されたい。

(7) 伝統文化・地域文化の保存・活用の推進

企画展、講演会、学習会を開催し、地域資源である文化財に対する理解を深める活動を市民におこなったことは確認できたが、人口の減少や少子高齢化により、伝統文化を引き継ぐ世代の人材不足が課題となっているため、市内小・中学校の児童生徒に文化財等の魅力を伝える取り組みを強化されたい。

第3章 生きる力にあふれ、豊かな人間性を育む教育

(1) 幼児教育の推進

生涯にわたる人間形成の基礎を培える大事な時期であるため、健やかに生活できる環境づくりが大切である。幼児が小学校教育への円滑な接続を図るため、幼稚園と小学校が教育の目的、子どもの発達等の理解を深め、連携・交流の機会を充実し、共通理解に努められたい。

(2) 学力向上をめざす教育の推進

「確かな学力」が身につくよう、校内研修会の中に授業公開を位置づけ、教職員の授業力向上に努め、各校の指導方法の改善・工夫、成果と課題について情報共有をおこなったことは評価できる。学校全体で授業改善等ができるよう教職員の研修等を充実させ、授業力の向上に努められたい。

(3) 道徳教育の推進

道徳の授業力向上を主たる目的に教職員研修を実施したことは評価できるが、近年、子どもたちの心の成長に関わる課題が多くなり、道徳教育の果たす役割は重要であるため、児童生徒が学びを深化させるような道徳の授業づくりに努められたい。

(4) 食育の推進

「志摩産給食」を毎月1回実施し、志摩の食材を取り入れた給食を実施し、志摩の恵みを発見する機会を作れたことは評価できる。将来を担う子どもの育成の上で食に関しては、重要なことのひとつであり、朝ごはんを食べない子どもがいるため、家庭とも連携し、正しい食育を身につけるよう啓発されたい。

(5) キャリア教育の推進

市内の全中学校で職場体験学習を実施し、進路や将来について考える良い機会となっていることは評価できる。今後も地域の企業等、多様な主体と連携した取り組みをより一層推進し、児童生徒に幅広い業種への関心を持たせることに努められたい。

(6) 教職員の力量向上の推進

県教育委員会、近隣市町や市独自の研修において、教職員の専門性の向上、子どもたちの状況を把握した上で、新学習指導要領の趣旨に沿った教職員の授業力向上に取り組んでいることは確認できた。教職員の力がつかないと子どもの力がつかないと言われていたため、今後も研修等の取り組みを継続し、教職員のスキルアップを図られたい。

(7) 学校と地域、家庭の連携の推進

地域の方が小中学生に対し、地域未来塾、放課後子ども教室で年間通じて学習支援をおこなったことは確認でき、地域と一体になる活動が出来たことは評価できる。今後も家庭、地域の社会、学校が相互に支えあっているよう、地域全体で志摩の子ども育成に取り組まれたい。

第4章 時代に対応する教育

(1) 安全で安心な学校づくりの推進

インターネット環境が身近にある中で、インターネットを扱う上でのマナーや犯罪に巻き込まれない視点における授業、交通安全及び防犯の視点での通学路点検をおこなったことは評価できるが、今後も継続して事業を進められたい。

(2) 防災・減災教育の推進

子どもに対しては授業、保護者に対しては講演会、教員に対しては研修会を行い、防災に関する知識・認識の向上を図ったことは評価できる。南海トラフ地震の津波浸水想定区域が志摩市全体の14%を占めるため、常日頃から防災・減災教育についての研修等を行い、いざという時のために備えられたい。

(3) 環境教育の推進

自然観察、栽培活動、ごみ処理の学習及び地域清掃など、地域や学校の特色を生かした環境教育を全校が行ったことは確認できた。SDGsの取り組みとして位置付け、今後も啓発等に推進されたい。

(4) 情報教育の推進

校内LAN配線の敷設や無線アクセスポイントを設置し、校内ネットワーク環境の整備されたことが確認でき、評価できる。校内ネットワーク環境が整備されたことにより、今後は市内すべての小中学校で、一人一台タブレット端末の導入を行い、日常的に使用することで情報モラルを身につける教育を進められたい。

(5) 国際化教育の推進

令和2年度から小学校英語が教科化となることに向けての取り組みが、すでに行われていることは評価できる。小学校教員の英語指導スキルを高める研修を充実させ、ALTとの連携体制を強化するよう努められたい。

(6) 就学環境の改善の推進

経済的等の理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費及び入学学用品費等を支給し、就学支援をおこなったことは評価できる。今後も家庭の経済格差が子どもの学力格差等をうまないよう、事業の周知を行うとともに、安定した事業の運用に努められたい。奨学金事業において、返還が滞っている者については納付相談等を行い、督促の強化に努められたい。

(7) 新しい教育委員会制度への移行の推進

定例教育委員会が12回、臨時教育委員会が3回開催され、議案等の審議に際し、活発な意見が交わされていることを確認できた。今後も教育委員の識見を最大限に活用し、より高度な審議を推進するため、教育行政に関する課題を適宜報告し、教育委員と事務局職員との意見交換を行いながら、事務執行の方針決定に活かされたい。

【最後に】

新たな取り組みや改善点がすぐ分かるよう報告書の作成には、評価できる項目を作っていたいただき、評価が見える記載方法を検討されたい。

夢と志をもった志摩市の子どもたちの育成に、教育委員会全体で尽力されていることが報告書を見て確認できたが、未来の志摩市の担い手である子どもたちのために、今後も学校教育の充実をお願いします。